

茨城県信用組合×JR東日本水戸支社「地域活性化連携協定2.0」締結式を執り行います
～金融機関と鉄道事業者の持つそれぞれの強みを掛け合わせた地方創生の取組み～

茨城県信用組合と東日本旅客鉄道株式会社水戸支社は、2022年3月に「地域活性化連携協定」を締結しました。この協定は、地域に密着している「信用組合」のお客様に、JR東日本グループ資産を活用し新たな販路を開拓していただく取組みです。この3年間、多くの成果が見られたことから更に深度化し、「地域活性化連携協定2.0」を新たに締結します。

1. 連携協定の概要

締結日：2025年3月27日(木)

期間：2025年4月1日(火)～2026年3月31日(火)

目的：茨城県内事業者の地域活性化・交流人口拡大に取り組むことを目的に相互連携する

2. これまでの取組み・成果

地域活性化連携協定締結

地域事業支援アワード2022

地域事業支援アワード2023

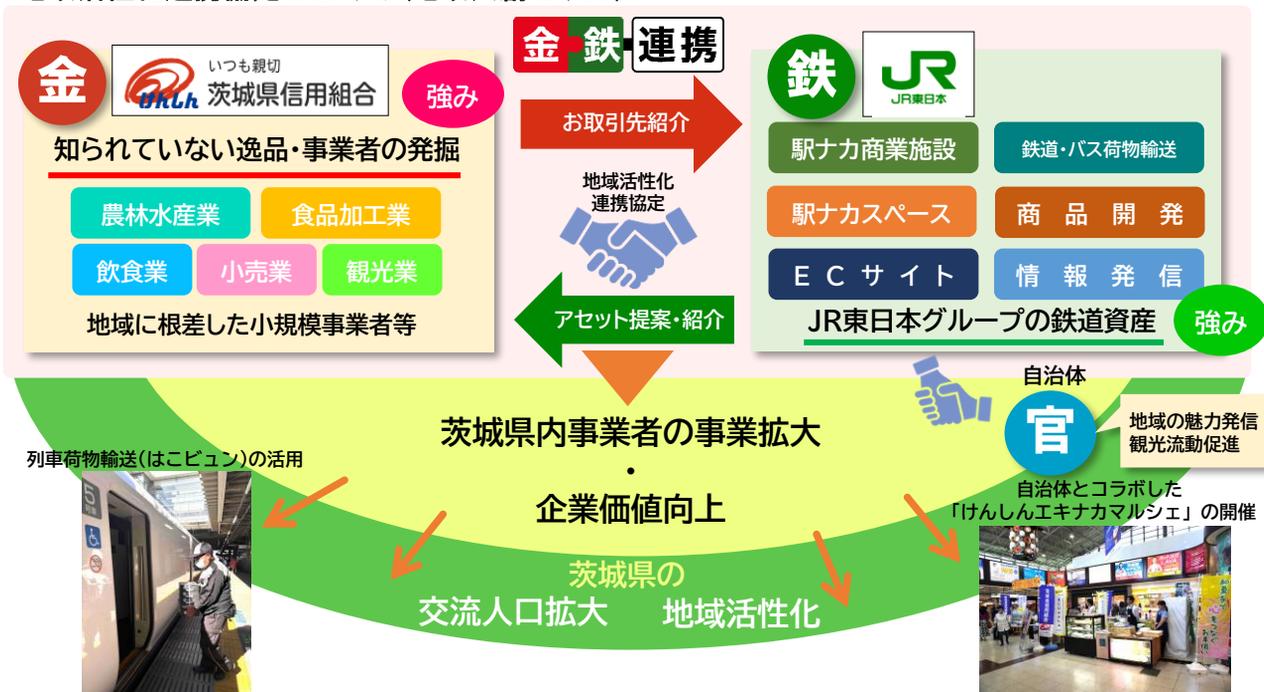


商談会実施回数：25回（成約件数：25件）

商談会・物販催事参加事業者数：129社

物販催事回数：15回（けんしんエキナカマルシェ：6回）

3. 地域活性化連携協定のしくみ(地域共創モデル)



4. 更に深度化させるための「地域活性化連携協定2.0」

・これまでの取組み

- 首都圏への販路拡大
- 物販催事への出店機会
- ECサイトへの出店支援

+

・今後の取組み

- 1 けんしんエキナカマルシェの深度化
- 2 列車荷物輸送の活用
- 3 ECサイトへの出店支援拡大



JRE MALL

- ① けんしんエキナカマルシェの深度化
 - ・首都圏での開催や新たな連携先との展開
- ② 列車荷物輸送の活用
 - ・首都圏催事イベント等に合わせた生鮮品などの荷物輸送の実施
- ③ ECサイトの出店支援拡大
 - ・商談会をきっかけとした新規事業者の出店支援の深度化
 - ・JR東日本の通販サイト「JRE MALL」と連携した取組み

(参考)内閣府の「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」受賞について

この度、これまでの取組みが令和6年度の「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」に選定され、2025年3月13日に内閣府特命担当大臣(地方創生担当)から表彰されましたのでお知らせします。

本賞は、内閣府地方創生室が、全国の金融機関等から報告された地方創生に資する取組みについて評価し、先駆性のある事例などを表彰しているものです。

表題	概要
1つのレールで繋がった金融機関と鉄道事業者「金鉄連携」の掛け合わせによる地域共創モデルの取組み	<ul style="list-style-type: none">・茨城県信用組合とJR東日本水戸支社が連携し、支援対象事業者の選定、商品の磨き上げ、販路支援、担い手の育成、表彰などを面的に展開している。・例えば、取引先に当組合の職員が1年間伴走し、商品づくりを支援。JR東日本のグループ会社の高級スーパーのバイヤーとの商談会も実施。これにより取引先の人材育成にもつなげている。